

日の出の森・支える会 二工一人

No.45

2021.6.

「日の出の森・支える会」は、東京都西多摩郡日の出町にある巨大な処分場が引き起こした環境汚染から、自分たちの生命・健康を守るとともに、ごみ問題の真の解決を願って立ち上がった地元住民運動を支援することを目的として、1994年に発足しました。

ごみ問題は終わっていません！

中西 千恵（日の出の森・水・命の会）

日の出町では町長選と町議選が4月11日に行われました。日の出6代目の町長は田村みさこさんに決まりました。西多摩初の女性町長です。町議選補欠選挙は定員と立候補者が一緒だったために無投票になりました。私中西千恵は、無事議員になりました

14年前私は町議でしたがやり残した課題がいくつかありました。今回2年間ありますので、いくつかの提案やら解決の方法等を求めて議員活動をしたいと思っております。

(1) 三多摩400万人のゴミを処理してるのが日の出町です。谷戸沢処分場二ツ塚処分場は現在稼働しておりませんが、焼却灰はエコセメント(注)として利用されております。1992年からゴムシート破損問題で水汚染、大気汚染、土壌汚染など多岐にわたる問題で、当時の「東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合」現在の「東京たま広域資源循環組合」に改善処置の住民訴訟を続けてきました。しかしそれらの裁判も終わり先に進まねばなりません。[処分場やエコセメント化施設からの影響や、それに絡まる町民の健康影響を専門に担当する部署を将来的に作り、個々の情報の開示も含めた循環組合と住民との間の橋渡しをしていただきたいと日の出町に提案しております。

(注) エコセメント：都市ごみ焼却灰のリサイクル品で、塩化物が多く建築物の構造材には使えず、波打ち際のテトラポットや路上用加工品・路盤剤などにしか使われていないセメント。



日の出町処分場のごみ焼却灰をエコセメントにする工場

(2) 町民の健康特に小学校の児童にアレルギー、アトピー性皮膚炎、が他の地域より多いのはどうしてなのか？教育委員会や保健所の資料からもはっきりしておりますが、原因を探りたいと思っております。

(3) 最近日の出町の上空を飛ぶオスプレイの事についても調べたいと思っております。前から訓練機は5、6機の編隊を組んで飛んでいました。ものすごく大きな音で振動も激しいです。オスプレイは上空をトラックが通っているかのごとく話し声も聞こえなくなります。見過ごせない事実です。

まだまだ問題点はたくさんありますので、少しずつ提案し解決したいと思っております。

【連絡先】 〒190-0011 東京都立川市高松町 2-19-1

ホームページ：<http://hinodenomori.main.jp>

Tel/Fax 042-523-7297

E-mail：hinodenomori@tokyo.email.ne.jp